

第四〇号

今三日本大臣貴族院ニ於テ一月二十一日衆議院ニ於ケルモノト同様ノ外交演説ヲナセリ然ルニ右ノ内加州問題ニ関シテハ演説ノ草稿ヲ予メ「ブライアン」氏ニ内示セリ等ノ誣説伝ハリ居ル今日ニツキ此上ノ誤解ヲ防ク為曩ニ打合せタル公表案ヲ議員及新聞記者等ニ配布スルコトハ当分見合スコト、セリ

右沼野ヘモ通報アレ

註 前掲一文書後段参照

一〇 二月三日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

外相ノ議會演説ハ予メ國務長官ニ内示セラレタル旨島田氏確言ニ付同長官ニ聞糺シノ結果

報告ノ件

第三八号

二月二日國務長官ヲ往訪ノ節貴電第三九号ノ件ヲ聞糺シタルニ本件ニ付テハ曩ニ同長官ヨリ在日本米国大使ニ送りタル電報中ニ之レヲ尽シ居ル旨ヲ答ヘ尙当地ニ於テ御演説発表ノ際同長官ヲ往訪セル多数ノ記者中或記者ハ閣下カ議會

ニ於テ加州問題ニ論及スル所アルヘキコトヲ同長官ニ於テ予メ承知シ居ルヤト問ヒ之レニ對シテハ然リト答ヘタルモ予メ御演説ノ内示ヲ受ケタルヤトノ他ノ記者ノ問ニ對シテハ斷シテ其ノ事ナシト答ヘタル旨ヲ語ラレ閣下ニ於テ重ネテ同長官ノ正誤ヲ希望セラルルニ於テハ喜ンテ左様取計フヘキモ其ノ節ハ島田氏ノ依頼ニヨリ同長官ヲ往訪シタルモノノ姓名承知シタシト述ヘラレタリ

二 米国法律家「マクケネー」氏意見

一一 一月二十七日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

加州土地法ニ對スル法律家意見報告ノ件

附記 加州土地法ニ関シ日米兩國政府ノ主張スル重ナル法律論点

第二七号

昨年十一月二十八日附機密第一五二号貴信ニ関シ御来示ノ疑点ヲ掲ケタル質問書ヲ曩ニ McKenney 氏ニ渡し置キタル所一月二十六日其ノ回答ニ接シタリ同氏ノ意見要旨左

ノ如シ

「千八百九十四年日米通商航海条約第一条第三項ヲ以テ合法ニ得ル所ノ各種財産ヲ処分スルコトニ関シ内国民若クハ最惠国民同様ノ特典自由及權利ヲ享有スト規定シタルハ合法ニ得ル所ノ各種財産例ヘハ交換売買(不明)ニ依ル譲渡、賃貸又ハ遺贈等ノ方法ニ依リ処分スル自由ヲ認メタルモノニ止マリ其ノ相手タル買受人賃借人受贈者等ノ選択ニ無制限ナル自由ヲ保障シタルト解スルコト能ハス故ニ加州土地法カ市民権ヲ得ルコト能ハサル外国人ニハ何人タリトモ其ノ財産ヲ譲渡スルコトヲ得スト規定シタルハ差別待遇ヲ構成セス一千八百九十四年ノ条約ハ財産ヲ処分セント欲スル日本人又ハ米国人ノ個人的友情感覺又ハ自負心ヲ保護若クハ保障シタルモノト思ハレサレハナリ」

質問書及回答書写郵送ス

註 加州土地法ニ関スル多数ノ米国法律家ノ意見ハ日本外交文書大正二年第三冊事項一中ニ採録セラレタリ

(附記)

加州土地法ニ関シ日米兩國政府ノ主張スル重ナル法律論点(外務省通商局調)

一 米国加州ノ外国入土地法及土地問題ニ関スル日米協約締結交渉關係 (二) 一一

帝國政府ノ主張中重ナル法律論点

合衆國政府ノ答弁

第一、土地ニ関シ

完全ナル所有權ハ処分權ヲ必然的ニ包含ス現在土地所有者ヨリ相續遺贈權ヲ奪フハ既得財產權ノ保護保障ヲ國民待遇ニ置キタル日米條約第一条第三項ニ違反ス

所有權ハ処分又ハ相續ニ関シ必スシモ無限且不變ノ權利ヲ伴フモノニアラス日本ノ議論ハ既得權ハ後日何等制限ヲ受クヘキモノニ非ストノ理論ヲ擴充シ過キタリ、凡テノ外国人ニ讓与移転ノ權利ヲ拒ムモ既得權ノ侵害ニ非サルヲ以テ或種ノ外国人ニ同様ノ權利ヲ禁止スルモ是亦既得權ノ侵害ニアラス

旧日米條約ハ処分權ニ付

國民待遇并ニ最惠國待遇

ヲ保障シタリ權利ノ存在ハ權原ノ繼續的存在ヲ要セスノ原則ヲ宣明セル合衆國大審院ノ判決例ニヨリ本邦人ニモ亦他ノ日本人ニ對スルト否トヲ問ハス自由ニ処分スル權利ナカルヘカラス然ルニ此処分權ヲ制限スルハ旧條約ニモ亦反スルモノナリ

第二、家屋ニ關シ

現ニ所有スル家屋ノ相統權ヲ奪フノ條約違反ハ前頭土地ノ場合ノ通り現行條約ハ家屋其他ノ建物ノ所有ヲ認ム而シテ加州ニ於テハ取引上家屋ハ土地ト不可分ノモノナリ然ルニ土地法カ土地ノ取得ヲ

禁シタル為メ勢ヒ家屋ノ取得ヲ事實上不可能ナラシム之レ條約第一条第一項ノ違反ナリ

右同断

旧日米條約ノ下ニ取得保有シタル家屋ノ処分權ヲ褫奪スルノ條約ニ違反タルコト前段土地ノ場合ト同シ

第三、土地家屋賃借權

家屋ヲ賃借シ并ニ住居及ヒ商業ノ目的ノ為メ土地ヲ賃借スルノ權利ハ日米條約之ヲ認ム随テ現ニ有スル土地家屋ノ賃借權ノ相統遺贈ヲ禁スルハ日米條約第一条第一項第三項ニ違反ス

第四、会社ニ關シ

備考

凡テ差別的待遇ハ合衆國憲法修正第十四ニ違反ス
No state shall.....
deny to any person
within its jurisdiction
the equal protection of
the laws.

三 土地問題ニ關スル日米協約締結交渉ノ經過

一一 一月二日 在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

土地問題ニ關スル日米協約案ニ付米國側審議
促進方國務長官ヘ申入ノ件

第一号

貴電第二九五号ニ關シ國務長官ハ幣制法案上院通過後直ニ「フロリダ」ニ旅行シ一週間不在ナリシ為本使ハ今日迄長官ニ面会ノ機會ヲ得ル能ハサリシ処新年接見會開催ノ為一

第五、無條約トナレル場合ニハ歸化權アル外國人ノ立場ハ變更セサルモ日本人ハ凡テノ權利ヲ失フ

第三項違反

会社ニ關スル錯雜セル問題ハ裁判所ノ審議ニ附スルヲ適當トス会社ノ權利特權及免除ハ自然人ト同一ノ範圍ヲ有スルモノニ非ス

非ス

第五、無條約トナレル場合

ニハ歸化權アル外國人ノ立場ハ變更セサルモ日本人ハ凡テノ權利ヲ失フ